学域名
学類名

コース（専攻）名

学類のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

KUGS及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ，以下に掲げる学修成果を達成した者に，学士（薬学）の学位を授与する。

〇学修成果
(1) 倫理・使命・責任を自覚する。
・医療人としての使命と責務を理解する。
・高い倫理観をもつ。
(2) 薬の専門家としての基本的能力をもつ。
・基礎から臨床に至る生命薬学領域の専門的知識を身につける。
・健康と疾病に関わる基礎知識を身につける。
・薬物治療に起因する問題を同定・評価し解決する基礎的能力をもつ。
・臨床現場における実践的な技能と態度を身につける。
(3) 専門性を活かした応用力をもつ。
・主体的な自己研鑽により，身につけた専門的知識を実践レベルまで発展させることができる。
・専門的知識を活用し，生命薬学・医療薬学領域の未解決な問題を抽出することができる。
・抽出された生命薬学・医療薬学領域の未解決な問題について，解決を目指す応用力をもつ。
(4) 論理的な思考力と表現能力をもつ。
・国際的な視点で情報の収集や分析を行うことができる。
・自身の考えを明確にまとめることができる。
・他者と論理的に議論することができる。

コース（専攻）のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

薬学類カリキュラムマップ（令和3年度）

薬学類の学習成果（◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、〇=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目）

薬学類のカリキュラム

学類の（専攻）のカリキュラム

時間割番号	授業科目名	学年	前期 Q1	前期 Q2	後期 Q3	後期 Q4	A－基本事項	B－薬学と社会	C-薬学基礎 C－1物質の物理的性質	C－2化学物質の分析	C－3化学物質の性質と反応	C－4生体分子・医薬品を化学による理解	C－5自然が生み出す薬物	C－6生命現象の基礎	C－7人体の成り立ちと生体機能の調節	C－8生体防御と微生物	D-衛生薬学 D－1健康	D－2環境	E-医療薬学 E－1薬の作用と体の変化	E－2薬理・病態・薬物治療	E－3薬物治療に役立つ情報	E－4薬の生体内運命	E－5製剤化のサイエンス	F－薬学臨床	G－薬学研究
15101	医薬保健学基礎Ⅰ	1	＊				◎																	〇	〇
15102	医薬保健学基礎Ⅱ	1		＊			◎																	〇	〇
15103	アカデミックスキル	1	＊				◎																		〇
15104	プレゼン・ディベート論	1		＊			◎																		〇
15105	医療統計学	3			＊		〇	〇									〇				◎				
15106	医薬品情報学	3				＊	〇													〇	〇			◎	
18101	薬学英語Ⅰ	2	＊				◎																		
18102	薬学英語Ⅱ	2		＊			◎																		
12101	生体の機能	1			＊		〇				〇	〇		〇	◎	〇						〇			
12102	生体の構造	1			＊									〇	◎	〇									
52001	有機化学ⅠA	1	＊						〇	〇	◎	〇													
52002	生命科学入門	1		＊										◎	〇	〇				〇					
52003	有機化学ⅠB	1		＊					〇	〇	◎	〇													
52004	有機化学ⅡA	1			＊						◎	〇													
52005	分子細胞生物学Ⅰ	1			＊									◎											
52006	分析化学Ⅰ	1			＊			〇	〇	◎	〇														
52007	有機化学ⅡB	1				＊					◎	〇													
52011	物理化学Ⅰ	2	＊						◎			〇													
52012	衛生薬学Ⅰ	2	＊				〇							〇		〇	◎							〇	
52013	分子細胞生物学Ⅱ	2	＊											〇	◎										
52014	分析化学Ⅱ	2	＊						〇	◎	〇														
52015	薬理学Ⅰ	2	＊				〇	〇			〇	〇	〇	〇	〇				◎	〇		〇			
52016	有機化学Ⅲ	2	＊				〇		〇	〇	◎														
52017	物理化学Ⅱ	2		＊					◎					〇											
52018	微生物学	2		＊										〇		◎									
52019	無機薬化学	2		＊					〇		〇	◎		〇			〇							〇	
52020	生命・医療倫理	2			＊		〇	◎												〇					〇
52021	生薬学	2			＊		〇	〇		〇			◎							〇					
52022	衛生薬学Ⅱ	2			＊													◎						〇	
52023	物理化学Ⅲ	2			＊				◎	〇															
52024	分子細胞生物学Ⅲ	2			＊									◎	〇										
52025	薬剤学Ⅰ	2			＊		〇	〇						〇	〇	〇			〇	〇	〇	◎	〇		〇
52026	薬理学Ⅱ	2			＊					〇		〇			〇				〇	◎					
52027	有機化学Ⅳ	2			＊						◎	〇													

学域名
学類名

コース（専攻）名

学類のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

KUGS及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ，以下に掲げる学修成果を達成した者に，学士（薬学）の学位を授与する。

〇学修成果
(1) 倫理・使命・責任を自覚する。
・医療人としての使命と責務を理解する。
・高い倫理観をもつ。
(2) 薬の専門家としての基本的能力をもつ。
・基礎から臨床に至る生命薬学領域の専門的知識を身につける。
・健康と疾病に関わる基礎知識を身につける。
・薬物治療に起因する問題を同定・評価し解決する基礎的能力をもつ。
・臨床現場における実践的な技能と態度を身につける。
(3) 専門性を活かした応用力をもつ。
・主体的な自己研鑽により，身につけた専門的知識を実践レベルまで発展させることができる。
・専門的知識を活用し，生命薬学・医療薬学領域の未解決な問題を抽出することができる。
・抽出された生命薬学・医療薬学領域の未解決な問題について，解決を目指す応用力をもつ。
(4) 論理的な思考力と表現能力をもつ。
・国際的な視点で情報の収集や分析を行うことができる。
・自身の考えを明確にまとめることができる。
・他者と論理的に議論することができる。

コース（専攻）のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

薬学類カリキュラムマップ（令和3年度）

学類の学習成果（◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、〇=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目）

薬学類のカリキュラム

学類の（専攻）のカリキュラム

時間割番号	授業科目名	学年	前期 Q1	前期 Q2	後期 Q3	後期 Q4	A－基本事項	B－薬学と社会	C-薬学基礎 C－1物質の物理的性質	C－2化学物質の分析	C－3化学物質の性質と反応	C－4生体分子・医薬品を化学による理解	C－5自然が生み出す薬物	C－6生命現象の基礎	C－7人体の成り立ちと生体機能の調節	C－8生体防御と微生物	D-衛生薬学 D－1健康	D－2環境	E-医療薬学 E－1薬の作用と体の変化	E－2薬理・病態・薬物治療	E－3薬物治療に役立つ情報	E－4薬の生体内運命	E－5製剤化のサイエンス	F－薬学臨床	G－薬学研究
52028	生体防御学	2			*									〇	〇	◎	〇			〇					
52029	病態生理学	2				*									〇										
52031	細胞生物学	3	*											◎	〇										
52032	生命工学Ⅰ	3	*											◎						〇					
52033	天然物化学	3	*									〇	◎												
52034	臨床薬物代謝化学	3	*									〇		〇	〇				〇		〇	◎			
52035	薬剤学Ⅱ	3	*																		〇	◎	〇	〇	
52036	薬物治療学Ⅰ	3	*															〇	〇	◎	〇				
52037	製剤学	3	*				〇	〇	〇	〇						〇			〇	〇		〇	◎		〇
52038	生物有機化学	3	*								〇	△													
52039	有機反応化学	3	*								〇														
52040	生命工学Ⅱ	3		*										〇						△					
52041	薬局薬学	3			*		〇	◎									〇		〇	〇	〇		〇	〇	
52042	臨床栄養学	3			*		〇										〇							◎	
52043	薬物治療学Ⅱ	3			*														〇	◎					
52044	臨床検査学	3			*					〇				〇		〇			〇		〇			◎	
52045	薬学関係法規Ⅰ	3			*		〇	◎					〇											〇	〇
52046	調剤学総論	3			*		〇	〇								〇			〇	〇	〇	〇	〇	◎	
52047	有機機器分析	3			*						〇														
52048	有機金属化学	3			*						〇														
52049	東洋医学	3				*							〇							◎					
52050	放射薬品学	3				*			△		△	〇					△	△			△			△	
52051	医薬品化学	3				*					〇	◎	〇							〇					
52052	毒性学	3				*		△									〇	△	△	△	△	△			
52053	薬剤疫学	3				*	〇	△									△							△	△
52054	化学療法学	3				*														〇				△	
52061	医薬品評価学	4	*				△	△									△				〇			△	
52062	看護学入門	4	*				〇	〇																◎	
52063	多職種連携概論	4	*				〇	〇												〇				◎	
52064	臨床心理学	4	*				△	△																〇	
52065	医薬品安全性学	4	*				〇	〇											〇	〇				◎	
52066	薬学関係法規Ⅱ	4	*				△	〇									△							△	△
52067	注射薬概論	4		*			〇													〇				◎	
52068	臨床医学入門	4		*			〇																	◎	

学域名
学類名

コース（専攻）名

学類のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

KUGS及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ，以下に掲げる学修成果を達成した者に，学士（薬学）の学位を授与する。

〇学修成果
(1) 倫理・使命・責任を自覚する。
・医療人としての使命と責務を理解する。
・高い倫理観をもつ。
(2) 薬の専門家としての基本的能力をもつ。
・基礎から臨床に至る生命薬学領域の専門的知識を身につける。
・健康と疾病に関わる基礎知識を身につける。
・薬物治療に起因する問題を同定・評価し解決する基礎的能力をもつ。
・臨床現場における実践的な技能と態度を身につける。
(3) 専門性を活かした応用力をもつ。
・主体的な自己研鑽により，身につけた専門的知識を実践レベルまで発展させることができる。
・専門的知識を活用し，生命薬学・医療薬学領域の未解決な問題を抽出することができる。
・抽出された生命薬学・医療薬学領域の未解決な問題について，解決を目指す応用力をもつ。
(4) 論理的な思考力と表現能力をもつ。
・国際的な視点で情報の収集や分析を行うことができる。
・自身の考えを明確にまとめることができる。
・他者と論理的に議論することができる。

コース（専攻）のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

薬学類カリキュラムマップ（令和3年度）

学類の学習成果（◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、〇=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目）

薬学類のカリキュラム

学類の（専攻）のカリキュラム

時間割番号	授業科目名	学年	前期 Q1	前期 Q2	後期 Q3	後期 Q4	A－基本事項	B－薬学と社会	C-薬学基礎 C－1物質の物理的性質	C－2化学物質の分析	C－3化学物質の性質と反応	C－4生体分子・医薬品を化学による理解	C－5自然が生み出す薬物	C－6生命現象の基礎	C－7人体の成り立ちと生体機能の調節	C－8生体防御と微生物	D-衛生薬学 D－1健康	D－2環境	E-医療薬学 E－1薬の作用と体の変化	E－2薬理・病態・薬物治療	E－3薬物治療に役立つ情報	E－4薬の生体内運命	E－5製剤化のサイエンス	F－薬学臨床	G－薬学研究
52071	薬学研究者入門Ⅰ	2	＊				○																		◎
52072	薬学研究者入門Ⅱ	2		＊			○																		◎
52081	キャリア形成概論Ⅰ	1			＊		○	◎																	
52082	キャリア形成概論Ⅱ	2	＊				○	◎																	○
52083	キャリア形成概論Ⅲ	3		＊			○	○																	◎
52091	ファーマケミストリーⅠ	4～6	＊							○	△	△													
52092	ファーマケミストリーⅡ	4～6				＊					○	△													
52093	アドバンスト有機化学Ⅰ	4～6		＊							○	△													
52094	アドバンスト有機化学Ⅱ	4～6			＊						△	○													
52095	ファーマケミストリー実験論	4～6	＊							○															
52096	バイオファーマサイエンス	4～6	＊									△		○	△										
52097	生体防御システム学	4～6		＊								△		△		○		△							
52098	バイオファーマ創薬論	4～6			＊							△								○					
52099	バイオファーマサイエンス実験論	4～6	＊											△											○
52100	プレシジョン創薬論	4～6	＊																△	○	△	△			△
52101	創薬動態学	4～6			○														△	△	△	○	△		△
52102	創薬薬理学	4～6				○													△	○	△				△
52103	プレシジョンメディシン実験論	4～6	○																	△	△	△	△		○
52111	有機化学演習Ⅰ	1	＊						○	○	◎														
52112	有機化学演習Ⅱ	1			＊						◎														
52113	有機化学演習Ⅲ	2		＊			○		○	○	◎														
52114	有機化学演習Ⅳ	2				＊					◎	○													
52121	薬学国際演習Ⅰ	2			＊		◎																		
52122	薬学国際演習Ⅱ	3	＊				◎																		
52131	薬物治療モニタリング演習	3			＊		○			○											○	○		◎	
52132	薬物治療演習	4	＊				○												○	◎	○			○	
52133	服薬指導演習	4	＊				○												○					◎	
52134	プライマリケア演習	4	＊				○	○												○				◎	
52135	症例演習	4			＊		○	○											○	○				◎	
52136	実務実習心得	2～4	＊				○	○																◎	
52137	総合薬学演習	4～6	＊				◎																		
52141	薬学演習Ⅰ	3		＊			○	○																	◎
52142	薬学演習Ⅱ	4	＊				○	○																	◎
52143	薬学演習Ⅲ	5	＊				○	○																	◎

学域名
学類名

コース（専攻）名

学類のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

KUGS及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ，以下に掲げる学修成果を達成した者に，学士（薬学）の学位を授与する。

〇学修成果
(1) 倫理・使命・責任を自覚する。
・医療人としての使命と責務を理解する。
・高い倫理観をもつ。
(2) 薬の専門家としての基本的能力をもつ。
・基礎から臨床に至る生命薬学領域の専門的知識を身につける。
・健康と疾病に関わる基礎知識を身につける。
・薬物治療に起因する問題を同定・評価し解決する基礎的能力をもつ。
・臨床現場における実践的な技能と態度を身につける。
(3) 専門性を活かした応用力をもつ。
・主体的な自己研鑽により，身につけた専門的知識を実践レベルまで発展させることができる。
・専門的知識を活用し，生命薬学・医療薬学領域の未解決な問題を抽出することができる。
・抽出された生命薬学・医療薬学領域の未解決な問題について，解決を目指す応用力をもつ。
(4) 論理的な思考力と表現能力をもつ。
・国際的な視点で情報の収集や分析を行うことができる。
・自身の考えを明確にまとめることができる。
・他者と論理的に議論することができる。

コース（専攻）のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

薬学類カリキュラムマップ（令和3年度）

学類の学習成果（◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、〇=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目）

薬学類のカリキュラム

学類の（専攻）のカリキュラム

時間割番号	授業科目名	学年	前期		後期		A－基本事項	B－薬学と社会	C-薬学基礎								D-衛生薬学		E-医療薬学					F－薬学臨床	G－薬学研究
			Q1	Q2	Q3	Q4			C－1物質の物理的性質	C－2化学物質の分析	C－3化学物質の性質と反応	C－4生体分子・医薬品を化学による理解	C－5自然が生み出す薬物	C－6生命現象の基礎	C－7人体の成り立ちと生体機能の調節	C－8生体防御と微生物	D－1健康	D－2環境	E－1薬の作用と体の変化	E－2薬理・病態・薬物治療	E－3薬物治療に役立つ情報	E－4薬の生体内運命	E－5製剤化のサイエンス		
52144	薬学演習Ⅳ	6	＊				〇	〇																	◎
52201	測定法と分析法を学ぶⅠ	2		＊					〇	◎															
52202	測定法と分析法を学ぶⅡ	2		＊													〇	◎							
52203	有機化合物の扱い方を学ぶ	2			＊					〇	◎		〇												
52204	生物の取り扱いを学ぶⅠ	2				＊			〇	〇				◎	〇	〇		〇							
52205	生物の取り扱いを学ぶⅡ	2				＊	〇	〇		〇		〇			〇				◎	〇					
52206	医療における薬を学ぶⅠ	2	＊										◎												
52207	医療における薬を学ぶⅡ	3	＊											〇	〇				〇		◎	〇	〇		
52208	医療における薬を学ぶⅢ	4			＊		〇	〇											〇	〇	〇		〇	◎	
52221	実務実習Ⅰ	5	＊				〇	〇																◎	
52222	実務実習Ⅱ	5	＊				〇	〇													〇	〇		◎	
52223	実務実習Ⅲ	5	＊				〇	〇													〇	〇		◎	
52224	実務実習Ⅳ	5	＊				〇	〇																◎	
52225	チーム医療実習	5/6	＊				△	△																〇	
52231	ラボローテーション	3	＊				〇	〇																	◎
52241	薬学研究Ⅰ	3		＊			〇	〇																	◎
52242	薬学研究Ⅱ	4	＊				〇	〇																	◎
52243	薬学研究Ⅲ	5	＊				〇	〇																	◎
52244	薬学研究Ⅳ	6	＊				〇	〇																	◎
52261	薬学海外AL実習Ⅰ	1～6	＊	＊	＊	＊	〇	△																	△
52262	薬学海外AL実習Ⅱ	1～6	＊	＊	＊	＊	〇	△																	△
52271	早期ラボローテーションⅠ	1			＊		△																		〇
52272	早期ラボローテーションⅡ	2	＊				△																		〇
52281	キャリアプラン研修Ⅰ	4～6	＊	＊	＊	＊		〇																	
52282	キャリアプラン研修Ⅱ	4～6	＊	＊	＊	＊		〇																	